

血管造影検査を受ける患者の看護を通して オリエンテーション用のパンフレットを作成して

河上智子 阿部真由美 皆川真理子
山下優子 浜田英子 高橋みさ子 岩井照代

はじめに

私たち内科外来検査係は、内視鏡検査と血管造影検査を主な仕事として行っています。内視鏡検査においては、平成8年7月～平成9年6月の一年間で上部消化管検査（ポリペクトミー含む）1816例・下部消化管検査（ポリペクトミー含む）929例・気管支鏡検査（BF）63例、他に内視鏡的逆行性膵・胆管造影検査（ERCP）・腹部エコー検査・経皮経肝胆管ドレナージ（PTCD）等の検査も行っています。また血管造影検査については、第一内科（循環器・呼吸器）・第二内科（消化器）・脳神経外科・第一外科（消化器）・第二外科（心臓血管・呼吸器）・泌尿器科の6科との関わりがあり、平成8年7月～平成9年6月までに519例の検査を行っています。

私たちは血管造影検査をうける患者と接して、事前にお話していればと思うことが幾度ありました。血管造影室入室時の患者のこわばったような表情、又緊張感の為に検査台に移動する時も身体に力が入りすぎていたり、検査開始後も目を閉じたままの患者もいました。穿刺時は医師から声かけをしますが、やはり痛みのためか下肢を動かしたり又、顔面等の搔痒感時に声を出すよりも先に手を出してしまうこともしばしばありました。

今回、私たちは血管造影検査をうける患者の不安をいくらかでも軽減できないものかと思い、検査の前にオリエンテーションを行なうことにしました。そのためにパンフレットを作成・アンケート調査を行ないましたので報告いたします。

目 的

- ・血管造影検査中の流れをパンフレットにして患者の不安軽減を図る。
- ・検査を受ける患者の不安度をアンケート調査して、オリエンテーション内容の改良へと考える。

期 間

平成9年7月～平成9年10月

方法および対象

- ・検査前、主に検査当日午前中、病棟訪問し患者に面談する。
- ・アンケート調査を行い、その後検査中の流れを説明する。
- ・検査後、再度患者訪問を行い感想等を聞き取り又は記述してもらう。
- ・対象として血管造影検査をうける第一内科・第二内科・脳神経外科・第一外科・第二外科・泌尿器科の患者で回答可能な患者。

アンケート結果と考察

今回の短い期間の中で、資料1の内容で65名の回答を得ることが出来ました。

65名のうち、血管造影検査を以前に受けているものが27名、残り38名は、初めてとのことでした（表1）。経験者の中には、2回目の患者から多いものでは9回目という患者も1名いました。

検査内容については医師側から充分説明されていて、表2のように51名78.5%の患者が理解できているようですが、説明を受けて安心したと答えた患者の中でも不安内容に回答している患者もいました。理解度とは別に検査に対して検査中・

検査結果を問わず何らかの不安を感じている患者が35名53.8%いました(表3・4)。

患者の声としては、

- ・初めてのことなので、何もかも不安
- ・動悸がおこるか心配
- ・脳神経外科という事が頭にあり不安が常にある

- ・前回つらい思いをしたので心配
 - ・危険な検査なので心配
 - ・造影剤の副作用が心配
 - ・痛いのかな?
 - ・全身麻酔で行なうのかな?
- 他、同じような不安・心配の声が聞かれました。

表1. 血管造影検査の経験はありますか

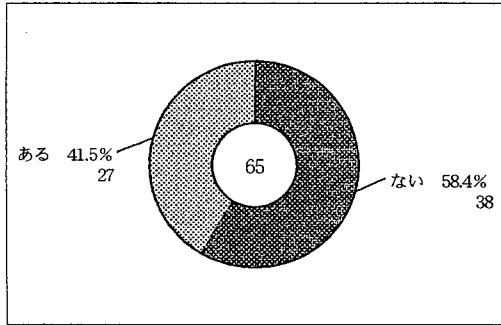


表2. 担当医からの説明を受けて

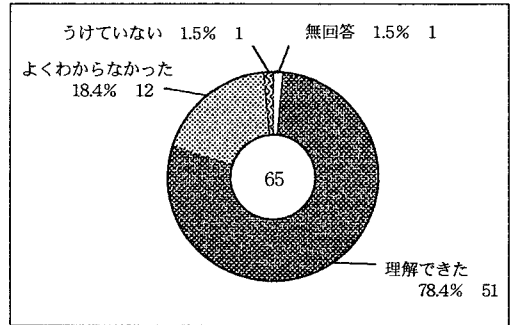


表3. 説明を受けてどうか

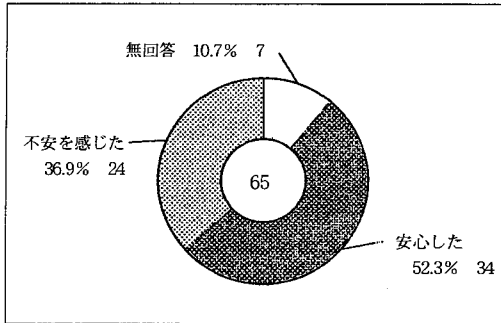


表4. 不安内容

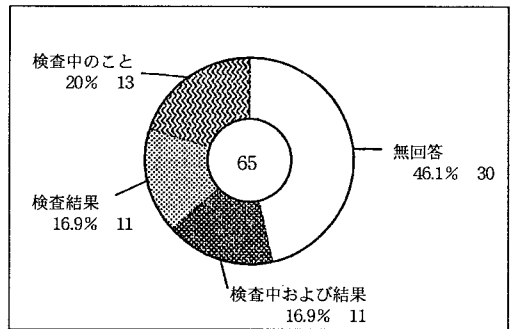
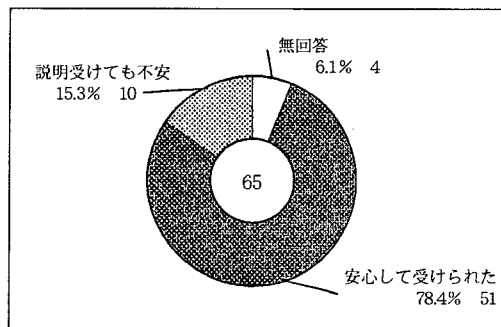


表5. オリエンテーション後検査を受けて



資料1

名寄市立総合病院で

血管造影検査を受ける方へ

内科外来、検査係として血管造影の時の患者さんの不安感、恐怖心を和らげる為、実際に検査を受ける患者さんの御意見を伺いたいと思いますので、御協力をお願いいたします。

※該当する所に○をつけてください。

【1】血管造影の経験はありますか
ある（ ） 回） ない

【2】今回の血管造影検査について担当医から説明を受けてどうでしたか

①（ ） よくわからなかった

②（ ） 理解できた

①（ ） 安心した

②（ ） 不安を感じた

①（ ） 検査結果の不安

②（ ） 検査中の不安

【3】病棟看護婦から説明を受けましたか

①（ ） はい

②（ ） いいえ

御協力ありがとうございました
内科外来 検査係

資料2

血管造影検査を受けられる方へ

◎血管造影室に入り、検査台に寝て病衣を脱いで頂きます。

◎血圧計、心電図をつけます。

◎両手足及び、胸を固定する場合があります。

（特に脳神経外科、検査の時、急に動くと正確な検査が行えない事があります。）

◎足の付根を消毒します。

◎局所麻酔をします。

（チクツとした痛みがあります）

◎カテーテルを入れ写真を写します。

（造影剤を入れると、体がポーッと熱くなりますが徐々におさまります。造影中、機械が体の側まで近づき大きな音がしますが、心配ありません。検査台が上下、前後に動きます。）

◎検査が終わりましたら、止血をします。

（10分～20分押さえ、ベルトを巻き部屋に戻ります。）

◎検査の時間は、2時間～3時間ぐらいです。

◎検査中は看護婦が側にいますので、気分が悪くなったり、かゆい所があったりしたら自分で動けないため我慢せず声をかけて下さい。

内科外来 検査係

資料3

血管造影を受けられた方へ

[1] 今回血管造影検査について、内科外来検査係の話を聞いてから検査を受けてどうでしたか？

①（ ） 安心して検査を受けられた。

②（ ） 検査前に話を聞いても不安を感じた。

不安に思ったことは何ですか

[]

[2] 何か、お気づきになった事がありましたら、お書きください。

[]

御協力ありがとうございました。
おだいじにしてください。
内科外来 検査係

資料1のアンケート調査後、資料2の内容でオリエンテーションを行ない血管造影検査を受けて頂きました。

検査終了後又は検査翌日再度訪問して、資料3の内容で聞き取り又は記述してもらいました。

回答件数65名のうち無回答の4名の中には、検査後状態急変によるもの又は翌日はやくに退院とのこともあり回収できなかったものもありました。

結果としては表5のように、安心して検査を受けられたと答えたのは51名78.5%でした。検査前に話を聞いていても10名15.4%の患者が不安を感じていたとのことです。不安内容についてはオリエンテーション前のアンケートの中に不安内容を記入する項目がないために、検査後のアンケートの中でまとめて書いてくれた患者もいました。検査後のアンケートの中には

- ・検査前に話を聞いていたから思っていたより安心はできたけど、とても緊張した
- ・検査の説明は聞いていたが、多少不安があり

ました

- ・麻酔も痛くなく先生や看護婦さんがつねに声をかけてくれたので安心して受けられました
- ・終わってほっとした
- ・息とめのタイミングがあわず始めだけ苦しかった
- ・フーセンで血管をふくらました場合に血管が破裂する危険があるのか、ないのか？

資料のアンケートの中で何か、お気付きになった事があればとの問いには

- ・装置や機械がイメージしていたものよりずっと大がかりであったので、少しばかり不安がありました
- ・手術を受けているのと大して変わらず途中で不安になった。でも事前に説明を受けていたので、パニックにはおちいらずにすんだ

以上のような患者の声からもオリエンテーションの内容の改良の必要性を感じています。

ま と め

血管造影検査を受ける患者へ、検査中の流れをまとめたパンフレットを作成しました。

パンフレットを使用してオリエンテーションを施行。その後評価のために患者に聞き取り又は記述でアンケート調査を行ないました。

事前にオリエンテーションを行なっていても不安・緊張感の中で、血管造影室に入室してくる患者への援助の必要性を感じています。

また、オリエンテーションの時にはパンフレットのみでなく室内の様子の写真等も使用して、より理解しやすいように改良したいと思います。

お わ り に

私たちは、今まで検査前の訪問等を行なっていませんでしたが、今回この研究により患者への事前のオリエンテーションの必要性を認識しました。

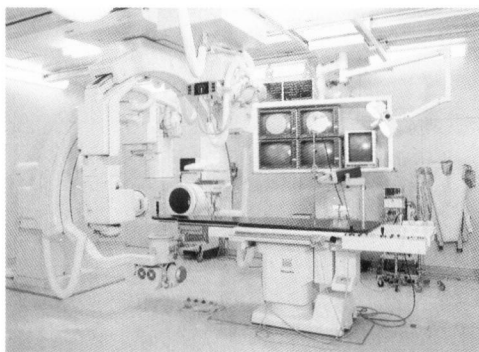
検査前の訪問により私たち看護者側が事前に、より多くの患者の情報が得られることにより、今後さらに患者一人一人のニーズに対応できるように努力していきたいと思えます。

最後に、関係各科の医長はじめ医師の皆様、又関係各病棟の部長はじめスタッフの皆様には深謝いたします。

平成10年4月現在においても、パンフレットを使用しオリエンテーションを続けています。

参 考 文 献

- 1) 日野原重明、他：ナースングマニュアル2 (重要疾患編) 脳・神経疾患マニュアル P 109 - 116, 1986.
- 2) 日野原重明、他：ナースングマニュアル3 (重要疾患編) 狭心症・心筋梗塞看護マニュアル P 78 - 92, 1987.
- 3) 日野原重明、他：ナースングマニュアル17 (臨床看護技術編) 循環ケアマニュアル P 85 - 105, 1988.
- 4) 中村正夫、山本光祥、小澤ミヨ子：看護必携シリーズ14 検査時の看護(ケアに役立つフローチャート式) P 157 - 161, 1989.
- 5) 片山 仁：造影検査実践マニュアル 造影検査前の留意点 P 21 - 24, 1994.
- 6) ナース専科編集部：ナースの総合情報誌 <ナース専科> 5月号 P 21 - 24, 1995.
- 7) 早川和生：看護研究の進め方、論文の書き方 1991.



心血管連続撮影装置